

## 平成 30 年度調査研究発表会の開催報告

一般社団法人新都市ハウジング協会では、この一年間の調査研究や実験等の成果を会員等の皆様に報告すると共に、ご意見をお伺いするために「調査研究発表会」を毎年開催しております。

内容は CFT 構造賞表彰選考委員会・CFT 造普及委員会・都市居住研究委員会・長寿命建築システム普及推進委員会における調査研究の成果報告に加えて、国立研究開発法人 建築研究所 理事長 緑川 光正氏 による

「地震防災を改めてふりかえる」と題しました特別講演を行いました。

また、発表会終了後は会場を移して交流会が開催され、発表会での発表内容や日頃の調査研究活動を振り返りながら、和やかに歓談されました。

なお、参加者は、発表会 168 名、交流会 41 名で(協会事務局 11 名を含む)、昨年を大きく上回りました。

- ・日 時 : 平成 30 年 7 月 6 日(金) 13:00~17:30
- ・場 所 : 大成建設株式会社 52 階 大会議室 (交流会 : 6 階カフェテリア 18:00~19:00)

### ■プログラム

- 1.開会の挨拶 新都市ハウジング協会専務理 事白井 清広
- 2.表彰選考委員会の報告 「2018CFT 構造賞」 表彰選考委員会委員長 是永 健好(大成建設株式会社)
- 3.CFT 造普及委員会の報告 「CFT 造普及委員会活動報告」 委員長 依田 博基 (株式会社 久米設計)
- 4.都市居住研究委員会の活動成果報告

「都市居住研究委員会の活動成果報告」

主査 森本 修弥 (株式会社 日本設計)

- 5.設備システム部会活動成果報告 部会長 団栗 知男 (大阪ガス株式会社)

- 6.長寿命建築システム普及推進委員会の活動成果報告

- 6.1 建築基礎 WG の活動成果報告

「活動成果報告」 建築基礎 WG 主査 成原 弘之(大成建設株式会社)

「動的相互作用を考慮した地震応答評価」 建築基礎 WG 奥村 豪悠 (株式会社竹中工務店)

「傾斜支持地盤立地建物の地震応答評価」 建築基礎 WG 小島 宏章(株式会社大林組)

「場所打ち杭の耐震限界性能実験結果」 建築基礎 WG 杉山 智昭 (大成建設株式会社)

- 6.2 住棟インフラ WG の活動成果報告

「住棟インフラ整備に関する検討」 住棟インフラ WG 副主査 安達 好和 (アルク一級建築士事務所)

- 6.3 技術インフラ WG の活動成果報告

「地方都市における立地適正化計画に対応した集合住宅等整備モデルのケーススタディ」

技術インフラ WG オブザーバー 近角 真一(集工舎建築都市デザイン研究所)

「立地適正化計画における拠点の連携による次世代分散型エネルギーインフラシステムの検討」

技術インフラ WG 主査 山崎 雄介(芝浦工業大学客員教授)

- 7.特別講演 「地震防災を改めてふりかえる」

国立研究開発法人 建築研究所 理事長 緑川 光正氏

- 8.閉会の挨拶 新都市ハウジング協会常務理事 西川 広一

本年は昨年より一部変更し、長寿命建築システム普及推進委員会の発表部分を長くいたしました。これらの発表は好評で、アンケート結果にも反映されており、来年も同様の方式の実施を考えております。

**多数のご参加 ありがとうございました。**

発表会・交流会

